

社員健康管理にPHR「カルテコ」活用 健診データ手元に健康リテラシーを向上へ

人が一生涯の健康・医療情報を自ら管理できるPHR（パーソナルヘルスレコード）サービス「カルテコ」を提供するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之）は、社員が健康管理にPHRを活用するために、受診した健診施設で「カルテコ」を利用できるようにしましたのでお伝えします。

具体的には、医療法人社団ミッドタウンクリニック（港区、理事長 草野敏臣）が運営する東京ミッドタウンクリニック（同区六本木）と日本橋室町三井タワー ミッドタウンクリニック（中央区日本橋）で健康診断を受診した社員が、スマートフォンやPCで「カルテコ」を通じて健診結果をいつでもどこでも閲覧できるようにしました。

「カルテコ」は当社が開発し、2015年6月にサービスを開始。現在、全国の6病院で稼働しています。患者さんは「カルテコ」を利用することで、自身の病気や治療内容を正しく理解し、納得して治療を受けられたり、旅行先や災害時などで具合が悪くなり、かかりつけ以外の医療機関を受診する際にも、自身の病気を医師に正しく伝えやすくなったりします。現在、約3万人が利用しています。

■社員がデータに基づく健康目標を設定

当社では、「カルテコ」を利用している社員の有志で互いに健康目標を設定し、健康維持に努めることを応援していきます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で在宅勤務が常態化する中、当社内では社員同士で体重や、体重と身長から算出される肥満度BMI

（Body Mass Index）指数などを、一定の期間内に減少させるなどの共通目標を設定する取り組みが、自然発生的に起きています。

※「カルテコ」は、アプリを公開しており、広く国民が「カルテコ」に登録し、利用できるようになっています。「カルテコ」はApp Store、Google Playでダウンロード可能です。

カルテコ



スマートフォンアプリ



WEBサイト



＜本件に関するお問い合わせ・取材のお申込み＞
メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報室 君塚・赤羽・汲田
TEL：080-9023-1506（君塚携帯）
e-mail:pr@mdv.co.jp